

# 市民と共に約1,500本の桜並木を 新川千本桜植栽事業がスタート。市民の皆さんから桜の里親を



八千代市のシンボルである新川の両岸に約1,500本の桜を——。新川が桜の名所になるように、今年度から新川千本桜植栽事業が始まります。植栽場所は大和田排水機場から神尾橋までの新川両岸。市民の皆さんから桜の里親を募集し、管理・運営していきます。市民の公募委員を含む新川千本桜植栽事業委員会(以後、委員会)の事業計画がまとまりましたので詳細をお知らせします。

## 市民と市で作り上げる 新川千本桜植栽事業

両岸に新たに約1,200本の桜を植栽し、新川を桜の名所にする新川千本桜植栽事業。花を通じたまちづくりを市民と市が協力して進める「花のまちづくり構想」に基づくものです。また、河川管理者である県と市が進める「ふるさとの川モデル事業」の一環でもあります。事業参加者の応募数にもよりますが、15年度まで行う予定です。この事業は市民と市が一緒に行うもので、市民の皆さんの中で希望する人を桜の「里親」として募集し、決定者は植栽される桜に自分のプレートを掛けたり、自分の桜として管理することもできます(詳細は後述)。

これまでは、事業の先駆けとして12年度に八千代ライオンズクラブからの寄付金で、新川の大和田排水機場から村上橋間の東岸およそ800メートルに染井吉野78本を植栽しました。事業のスタートに当たっては今年6月に発足した新川千本桜植栽事業委員会によって、詳細が決まりました。

## 植栽は大和田排水機場から 神尾橋までの約7キロ

事業の対象となる区域は、大和田排水機場から堀の内の神尾橋までの約7キロメートル。両岸合わせて14キロメートルにわたって行われます。その区域に約10メートル間隔で桜を植栽していきます。

## 植栽するのは全7品種

この事業では、この7キロメートルの区間を、主に染井吉野と陽光、河津桜の3品種で構成します。染井吉野については、対象地域に約300本が既に植栽済みです。

これから植栽する桜は全部で7種類。選定の主な理由として、陽光は染井吉野と同系統である一方で染井吉野がかかりやすいテングス病にならない。河津桜は、染井吉野よりも開花時期が早く、八千代市近辺ではあまりないということ。そのほかの十月桜・寒桜・兼六園菊桜・駿河台句・八重紅枝垂は目新しいものということで選定されました。

## 新川に架かる橋付近には 点景用に5品種の桜を植栽

植栽は、村上橋から八千代橋までの区間に陽光を、八千代橋から神尾橋の区間に河津桜を中心に行います。それ以外の5品種は、この区間にある宮内橋、富士見橋、八千代橋、平戸橋、そして神尾橋のたもとに8本ずつ植えます。これは、橋を渡る時に色々な桜を楽しむことができるようにするためです。詳しくは、3ページの図をご覧ください。

## 植栽は市内の 造園業者に委託して実施

植栽は、市内の造園業者に委託して行います。本来、里親自身で植栽することが事業目的にふさわしい方法ですが、現場は雑草が生い茂り、地面も非常に固く、植栽後の育成や管理を考えると、専門家に委託するのが最善の方法と判断したためです。

## 里親からなるボランティアと 委員会、市で管理

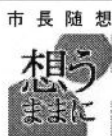
桜の管理は、委員会や市と共に、主に里親の中からボランティアとして参加できる人に協力をお願いして管理していきます(里親の募集は次ページ)。

## 桜の豆知識

古来から日本人に愛されてきた桜。古くは花といえど桜を指すほどでした。バラ科の落葉喬木で、花弁は白や淡紅色で数は5枚のものが多い。中には花弁が300枚もあるものも。種類は、中国大陸やヒマラヤにも数種が知られていますが、日本がもつとも多く、野生種で約9種類、ヤマザクラやオオヤマザクラ、エドヒガン、サトザクラなどが含まれていま

す。これらの野生種を基本に、自然交配や品種改良などでできた桜は、栽培品種や園芸品種といい、その数は400種類にも上るといわれています。また、ヨーロッパ諸国やアメリカでも新しい品種が作られています。

咲く時期は、寒桜や河津桜などの早いもので3月上旬から中旬に、兼六園菊桜や奈良の八重桜などの遅いもので5月上旬に咲くものもあります。中には十月桜や冬桜のように、春のほか秋や冬にも咲くものもあります。



同時多発テロで中止になった  
タイラー市への親善訪問  
八千代市長 大澤一治

テキサスは安全です。危険はないと思います。タイラー市民は心から八千代市の皆様をお待ちしています。同時多発テロのため、八千代国際姉妹都市委員会が訪問中止を打診したことに対してのタイラー市長からの返事でした。昨年タイラー市から39人の訪問団を迎え、8月19日の八千代ふるさと親子祭に参加してもらいました。総合運動公園の多目的広場での盆踊りでは慣れない手振りで踊ったり、新川の火花を堪能したりと、私たち八千代市民との国際親善を深めることができました。今年度は八千代市からタイラー市を訪問する予定で、10月17日に出発するための準備を進めていた矢先に、あの悲惨な事件が起こりました。タイラーの秋は、街中にバラの花が咲き匂います。ローズフェスティバルも催され、バラの女王を先頭にしたパレードは、まさにメルヘンの世界です。このシーズンに合わせての訪問計画で、54人の市民の皆さんがこの日を楽しみにしていました。テロ発生後、タイラー市への問い合わせや関係機関との協議を重ねた結果、今年の訪問は中止されました。とにかく安全第一ということで委員会の苦渋の決断でした。一瞬の内に何千人もの罪のない一般人を死に陥らせた卑劣なテロに言いようのない怒りを覚えます。そして、テロの犠牲になった多くの人々に心から哀悼の意を表したいと思います。一日も早く不安な状況がなくなり、安心してタイラー市を訪れることができるよう願っています。

## 女性初の教育委員長に小野沢句子さん

平成13年市議会第3回定例会で、任期満了に伴う新教育委員に出番英美さんが同意を受け市長に任命されました。その後の臨時教育委員会でも、教育委員長に小野沢句子さんが決まりました。(教育総務課)

恵蔵から交流や交易の紹介  
▼信仰と文化：①人面墨書土器などから折りや仏教の影響の紹介、②墨書土器などから文字の世界や文化の紹介  
【詳しくは図録でも】本企画展の内容をまとめた図録を同館窓口で販売しています。一部280円  
【問い合わせ】郷土博物館(4849011) / 村上117012



赤外線カメラで撮影した墨書土器の表面

▲上谷遺跡(保品)で9年12月に出土した墨書土器